

かまくらFP通信

～気軽に読めて役に立つ
マネー情報をお届けします！～



2024年
6月号

特集 新NISA、口座開設数は前年同期比3.2倍に！

2024年から始まった新しい少額投資非課税制度（NISA）で、新たに投資を始める人が増えています。日本証券業協会の調査によると、証券会社10社（大手5社、ネット5社）の2024年3月末時点のNISA口座数は、約1,456万口座。2024年1～3月期の新規口座開設件数は約170万件となり、前年同期比で3.2倍となっています。2024年1～3月の累計買付額は4兆6,822億円。こちらも前年同期比2.9倍です。ただ、18歳以上の総人口からみると、新NISA口座を保有している人の割合は未だ13.5%。NISA口座が広がってきたといえども、実際に行動を起こしている人は、まだまだ少数派ともいえます。

NISAとは投資から得られる利益が非課税になる制度。通常は利益に対して20.315%の税金が課せられますが、NISA口座内で得られる利益に対しては税金がかかりません。新NISAでは非課税で投資できる期間も恒久化され、投資金額も年間360万円まで、累計で1,800万円までと大幅に拡大されました。この貯蓄から投資への動きが今後も続いていくのか、それとも一過性のものなのか、継続的に見ていく必要がありますね。



? マネークイズのコーナー

Aさんは株式会社を立ち上げようと思っています。さて、資本金は最低いくら必要なのでしょう？

- 1 1,000万円
- 2 300万円
- 3 1円



(答えは裏面にあります！)

今月のお知らせ

「アジサイの花」と聞いて思い浮かべる花びらが、実は花の部分ではないのはご存知でしょうか。そこをかき分けた中心部にある小さな蕾のような部分が「真花」と呼ばれる花で、花だと思われている部分はガク（1番外側にある葉的な部分）が発達した「装飾花」と呼ばれているそうです。



コラム ▶ 耐震基準、新・旧だけではなく、2000年基準もチェック！

地震が多い日本では、建物の耐震性能はとても重要です。日本の建築基準法は1950年に制定され、以後数年おきに改正されています。耐震性能では、「旧耐震」「新耐震」の基準がよく知られていますが、木造住宅では新・旧だけでなく「2000年基準」も重要視されています。それぞれについておさらいしてみましょう。

【旧耐震基準】1981年5月以前の建築基準法による基準が旧耐震。震度5程度の地震では大きな損傷を受けないことが基準となっています。

【新耐震基準】1981年6月の建築基準法の大改正に伴い示されたのが新耐震基準。震度6～7程度の地震でも倒壊しないことが基準となっています。1次設計、2次設計の2段階で耐震性のチェックが実施されます。

【2000年基準】1995年の阪神淡路大震災で多くの木造住宅が倒壊したことから、2000年に建築基準法が改正。2000年基準では、地盤調査、耐震壁の配置、柱などの接合方法などの基準が設けられ、木造住宅の耐震性向上が図られています。

中古住宅を検討する際に、まずは1981年以降の新耐震基準なのかということ、木造住宅の場合は2000年基準を満たしているのかを確認するとよいでしょう。



A マネークイズの答え

答えは 3

2006年の会社法の改正で最低資本金制度がなくなり、1円からでも会社を設立できるようになりました。

実際は出資金1円とすることは少ないでしょうが、いくらからでも会社をつくれるようになっています。

編集後記



信州の戸隠にお蕎麦旅行に行きました。戸隠神社の杜を歩き、木々の緑に囲まれて森林浴を満喫したあといよいよ日本三大そばのひとつと言われる「戸隠そば」を食べに！行きたかった「そばの実」は11時半から既に行行列!!タクシー運転手さんに教えてもらった仁王門屋で冷たいお蕎麦をいただきました。のど越しが良くつるつると楽しみました(^)



発行

株式会社 慶 優 □ <https://keiyu.jp>

神奈川県鎌倉市小町1-8-21

お問い合わせは ☎ 0467-22-5200 まで！

E-mail ✉ : hirota@keiyucorp.com

